

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年九月度 入選句（投稿総数二千三百二十二句・一般投句数七百九句）

特選

手相とは違う人生冷奴

東京都世田谷区 関戸 信治

運勢が現れるという手のひらの手の筋・信じる信じないは、本人の自由とは言いがくても、それを言われると気になるのが人間の弱いところ。

さて、このご本人当っているのかいないのか気になるところだが、そこは季語に語って貰うというのが俳人の心、そこでさつぱりとした冷奴、そんなことは余り気にしない気安さが見えて来るところが面白いではないか。

幸せは今生きること大根蒔く

大垣市 村田 通夫

幸せ、不幸せは本人の心掛け次第。作者は今を生きることが幸せと言う。
そう、今生きていなければ幸せはあり得ないし、喜びはない。今を生きる喜びは、今年も元気に大根を蒔くことの出来る感謝の喜びなのである。

墓しまうこと言い出せず盆過ぐる

安八郡安八町 牧村 みどり

墓しまうこと言い出せず、と言う切実なことは、遠く離れて暮らす子たちのことを考えると、今の先祖伝来の墓を守り通して行くことに、どうしても不安を感じる私、子たちにそのことを言おう言おうと思いつつながら、ついに言い出せず、今年も子たちのお墓参りには来てくれたけれど、手を振りながら帰っていつてしまった。

秀逸

悩むより今日を生きよと蟬鳴けり

大垣市 安田 むつこ

水底に揺るる水草や涼新た

加茂郡坂祝町 中道 寛

蜘蛛の罫に顔を捕られて農具小屋

不破郡垂井町 富田 実郎

手刈りして稲穂の重さ確かむる

不破郡垂井町 竹嶋 富美子

秋桜話し上手に聞き上手

大垣市 新町 恵子

盆提灯息吐くやうにたゝみけり

不破郡垂井町 大羽 志津子

熱戦の余韻を畳む白日傘

岐阜市 佐藤 直子

薪能炎に揺らぐ般若面

茨城県水戸市 慧

どよめきの上にかぶさり揚花火

安八郡神戸町 高橋 日出美

ワイパーと同心円の虹の橋

大垣市 森 茂寿

入選

新幹線ひまわり畑を一直線	大垣市	説田 祐子
顔隠す鏝の大きな夏帽子	大垣市	不破 英雄
すれ違ふ幸せさうな秋日傘	不破郡垂井町	児玉 信子
新盆の座敷なごます幼かな	養老郡養老町	田中 紫香
踊り子の団扇が背で揺れている	大垣市	宇都 香代子
応援の団扇が止まるホームラン	不破郡垂井町	北村 廣美
百日紅水門川へ花こぼす	愛知県名古屋市	上田 博子
台風禍いのちに関わるとの予報	東京都北区	菱沼 多美子
手渡しでもらふ一房葡萄棚	大垣市	佐藤 すみ子
味噌部屋はいつも湿りてちちろ鳴く	大垣市	岡田 あや子

入選

校庭に子等の喚声九月来る	大垣市	宮脇 和子
八月尽閉店告げる百貨店	大垣市	秋山 くに子
帰る子に手をふる窓辺星月夜	大垣市	森川 きよ子
虫の音や十年ぶりに琴を弾く	大垣市	山田 千歌子
秋めいて影やはらかき太極拳	大垣市	本田 勢津子
手を振って送る子の背に十三夜	養老郡養老町	山田 順子
ひぐらしが夕暮れの空変えてゆく	大垣市	福田 久子
少年のまなざし遠し秋の空	岐阜市	島 めぐみ
入院の荷物に添へる団扇かな	揖斐郡池田町	木塚 しょう
炎昼や手配写真の色褪せて	三重県四日市市	後藤 允孝

選者吟

燈下親し思ひ思ひのことをして